

地方税統一 QR コード等の印字に係る特記仕様書

(1) 地方税統一 QR コードについて

対象帳票に「地方税統一 QR コード」「統一納付書番号」及び「地方税統一 QR コード対応納付書であることを示す地方税共同機構の基準に基づく文言」の印字を行うこと。

「地方税統一 QR コード」とは、「地方税における QR コード規格に係る検討会」（事務局：総務省及び一般社団法人全国銀行協会）において、地方税の納税に活用することを目的として定めた QR コードの全国統一規格であり、全ての市町村が地方税の納付書に地方税統一 QR コード等を印字し、地方税共通納税システムによる納付等に活用するものである。

(2) 対象帳票

地方税統一 QR コード等を作成・印字する対象帳票及び作成用データファイルは、以下一覧のとおりとする。

地方税統一 QR コード等対象帳票一覧

帳票群	帳票名称
個人市民税・県民税普通徴収関係帳票 [当初分]	納付書（普通徴収用）
個人市民税・県民税普通徴収関係帳票 [月例分]	納付書（普通徴収用）
軽自動車税関係帳票	軽自納税通知書

(3) 印字・印刷内容

印字・印刷する具体的な内容は、以下のとおり「地方税統一 QR コード」、「統一納付書番号」及び「地方税統一 QR コード対応納付書であることを示す地方税共同機構の基準に基づく文言」（以下、「地方税統一 QR コード等」という。）である。

ア 「地方税統一 QR コード」

地方税の納税に活用することを目的として定めた QR コードの全国統一規格

イ 「統一納付書番号」

納付書情報を一意に特定するための番号

ウ 「地方税統一 QR コード対応納付書であることを示す地方税共同機構の基準に基づく文言」（3種類）

(ア) e L マーク

「共通納税対応納付書」を示すマーク

(イ) e L 番号

「納付書を特定するキー情報」を示す文言

(ウ) e L-QR

「地方税統一 QR コード」を示す文言

(4) 地方税統一QRコードの印字

地方税統一QRコード等の規格等は、全国共通の仕様として、地方税共同機構が「納付書作成に関するガイドライン（第1.3版）」（令和4年7月）を定めている。

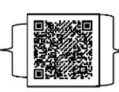
受託者は地方税共同機構「納付書作成に関するガイドライン」に基づいて「地方税統一QRコード」を生成し、対象帳票へ印字すること。

地方税統一QRコード生成条件


（地方税共同機構「納付書作成に関するガイドライン（第1.3版）（令和4年7月）」抜粋）

項番	項目	数値	条件
1	バージョン	6	固定
2	誤り訂正レベル	M	固定
3	プリンタ解像度（dpi）	300dpi 以上	各地方団体において設定
4	セルサイズ	0.28mm 以上 (0.32mm 以上推奨)	印刷スペースを踏まえ、可能な限り大きく設定
5	1セルあたりのドット数	4ドット以上	dpi に合わせて最適数を設定


※ 上記条件に従い生成されるQRコードの最小サイズは、印刷プリンタの解像度により、11.6mmから13.0mm（マージン込みで13.8mmから15.6mm）となる。地方団体においては、印字確認及び読取確認により、読取の安定性を事前検証する。



11.6mm × 13.8mm
360dpi



13.0mm × 15.6mm
400dpi



12.1mm × 14.5mm
600dpi

解像度3種の内、600dpiを第一候補とする。600dpiが不可の場合、委託者と協議する。

地方税統一QRコード格納項目（地方税統一QRコードレイアウト）

項番	項目	文字種	桁数	内容
01	仕様バージョン（JPQR関係）	半角数字	2	"01"を設定
02	静的・動的フラグ（JPQR関係）	半角数字	2	"12"（動的／請求書払い）を設定
03	宛先情報（JPQR関係）	半角数字	5	地方税共同機構識別符号"13800"
04-1	チェックディジット	半角数字	2	
04-2	地方税共同機構の口座番号	半角数字	11	便宜的にALL0を設定
04-3	払込金額	半角数字	11	今回納付額合計
04-4	払込手数料の加入者負担／払込者負担	半角数字	1	"2"（加入者負担）を設定

04-5	83 桁 情 報	機関 I D（収納機関番号）	半角数字	5	地方税共同機構をMPN の収納機関とする番号” 13800”
04-6		印紙税の要否の別	半角数字	1	” 0”（不要）を設定
04-7		<u>税目・料金（納付区分）</u>	半角数字	3	税目を識別するための税 目・料金番号
04-8		拡張領域	半角数字	5	便宜的に ALL0 を設定
04-9		チェックディジット	半角数字	2	
04-10		<u>案件特定キー</u>	半角数字	20	地方団体が付番する案件 特定キー番号
04-11		<u>確認番号</u>	半角数字	6	地方団体が付番する確認 番号
04-12		e L T A X利用領域	半角数字	1	” 0” を設定
04-13		<u>団体番号</u>	半角数字	5	地方公共団体コード
04-14		税務事務所コード	半角数字	3	税務事務所コード
04-15		拡張領域	半角数字	7	便宜的に ALL0 を設定
05		課税年度	半角数字	4	当該納付案件の課税年度 （西暦 4 桁）
06		対象年度	半角数字	4	当該納付案件の対象年度 （西暦 4 桁）
07		期別	半角数字	2	01=1 期、02=2 期、・・・
08		納期限	半角数字	8	当該納付案件の納期限 YYYYMMDD
09		支払期限	半角数字	8	QR コードを活用した 支払期限 YYYYMMDD
10		拡張領域	半角数字	85	便宜的に ALL0 を設定
11		チェックディジット（J P QR 関係）	半角数字	5	

(5) 統一納付書番号の印字

受託者は、地方税共同機構「納付書作成に関するガイドライン」に基づいて、地方税共通納税システムにおいて納付書情報を一意に特定するため、「統一納付書番号」を納付書に印字すること。

なお、「統一納付書番号」は、上記地方税統一QRコード格納項目の内、「04-13 団体番号」「04-10 案件特定キー」「04-11 確認番号」「04-7 税目・料金（納付区分）」の4つの情報で構成する番号である。

統一納付書番号の構成

統一納付書番号 (全34桁)			
収納機関番号	納付番号	確認番号	納付区分
04-13 団体番号 (5桁)	04-10 案件特定キー (20桁)	04-11 確認番号 (6桁)	04-7 税目・料金 (納付区分) (3桁)

統一納付書番号の印字位置

※本業務で作成する帳票は「MPN準拠帳票」に該当する。(ペイジーマークは表示しない)

帳票の種類	記載場所
MPN標準帳票	<ul style="list-style-type: none"> 「MPN標準帳票」のレイアウトにおける「<u>収納機関番号</u>」、「<u>納付番号</u>」、「<u>確認番号</u>」及び「<u>納付区分</u>」の欄に、<u>案件特定キー</u>等を記載する。 地方団体が任意に採番する案件特定キー及び確認番号については、MPN用の納付番号及び確認番号と共通のものとして当該地方団体において採番する。
MPN準拠帳票	<ul style="list-style-type: none"> 「MPN準拠帳票」のレイアウトにおける「<u>収納機関番号</u>」、「<u>納付番号</u>」、「<u>確認番号</u>」及び「<u>納付区分</u>」の欄に、<u>案件特定キー</u>等を記載する。
その他の帳票	<ul style="list-style-type: none"> 納入済通知書片の任意の場所に記載する。

【MPN標準帳票・MPN準拠帳票への記載イメージ】

この領域に記載する方法を標準の記載方法とする。

- 「収納機関番号」の欄 ⇒ 地方公共団体コード※
- 「納付番号」の欄 ⇒ 案件特定キー
- 「確認番号」の欄 ⇒ 確認番号
- 「納付区分」の欄 ⇒ 税目・料金番号

※地方公共団体コードとMPNの収納機関番号が異なっている場合には、MPNの収納機関番号を記載する（MPNの収納機関番号を共通納税用に利用する）。



※「MPN標準帳票」のイメージを使用している。
 ※「MPN準拠帳票」の場合は、ペイジーマークの表示不可。

(6) 地方税統一QRコードであることを示す文言の印刷

受託者は、地方税共同機構が定める「地方税統一QRコードを示す文言及び納付書への記載方法等の基準」に準じて、下記のとおり対象帳票に下記の文言・マークの印字・印刷を行うこと。

地方税統一QRコードであることを示す文言の印刷の記載方法等について

項目	文言 (読み)	記載方法等
	イメージ	
ア「共通納税対応納付書」	<ul style="list-style-type: none"> ・ e L マーク (えるまーく) 	

<p>を示すマーク</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 共通納税対応の納付書を示すものとして、納入済通知書片のタイトル部分に印刷する。 ・ 印刷時のサイズは任意とし、納税者が識別可能な範囲で調整する。 ・ 印刷の際に、各帳票において定められる余白を確保するように留意のこと。 ・ 刷色は他の払込書との差別化を図るため、「赤」、「青」および「黒」以外の色（一見してMPN 払込書と誤認しない色）とすること。
<p>イ「納付書を特定するキー情報」を示す文言</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ e L 番号 （えるばんごう） <p>（納入済通知片）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>eL番号:12345-1234567890 1234567890-123456-123</p> </div> <p>（原符片・領収証書片）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>12345678901234567890 123456 1234567890</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>納入済通知書片、原符片及び領収証書片へ印字する。</u> ・ <u>納入済通知書片には、「e L 番号：」表示に続けて、「収納機関番号」-「納付番号」-「確認番号」-「納付区分」の順番に印字する。</u> ・ <u>原符片及び領収証書片には、「納付番号」「確認番号」「通知書番号」の順番に印字する。（- はなし）</u> ・ イメージに記載した改行場所は例示。（改行する桁数は任意。）
<p>ウ「地方税統一 QR コード」を示す文言</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ e L-Q R （えるきゅーあーる） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>納付書に QR コードを印刷する際に、左記のように印字する。</u> ・ <u>刷色は黒色とする。文字フォントは任意とする。</u> ・ 印刷の際に、各帳票において定められる余白を確保し、「e L-Q R」表示と QR コードが重ならないように留意のこと。 ・ QR コード自体は、納入済通知書片へ記載する。（すべての納付書に

		において納入済通知書片への記載で統一する。)
--	--	------------------------

(7) 各関係機関の作成基準への適合

受託者は、地方税統一QRコード等の作成・印字に係る仕様については、本特記仕様書及び地方税共同機構「納付書作成に関するガイドライン」に定める事項の他、各関係機関が定める下記のア～ウの作成基準にも適合するよう作業を行うこと。

契約締結日以降に国、地方税共同機構及び関係機関から、地方税統一QRコード等の印字に係る仕様や作成基準等について新規・変更・追加の改訂や情報の発信があった場合は最新の仕様内容を適用するものとし、印字印刷開始時までには委託者と受託者が確認、協議を行い基準に適合するよう努めるものとする。

ア ゆうちょ銀行「地方税統一QRコード様式の作成基準」（2022年3月31日）

QR様式（マル公）作成基準

項番	項目	QR様式（マル公）の作成基準
①	QRコード等	㊦納入済通知書表面に「eLマーク」の記載を推奨 ①納入済通知書表面に、地方税統一QRコードが印字されていること ※QRコードの印字位置は、カク公と同様の印字位置を推奨 ※「eL-QR」の表示を推奨 ㊧納入済通知書表面に「eL番号（案件特定キー等）」が印字されていること
②	納付書の構成	・3連式であること ・「済通」「原符」「領収証書」の構成であること
③	マル公の表示	・各表題部の先頭または後方に表示
④	加入者名	・各票上部に、口座番号・加入者名欄を隣接して設欄 (既存納付書において欄がない場合は、設欄不要)
⑤	口座番号	
⑥	払込人 住所氏名欄	・払込人住所氏名欄を設欄 (住所非表示の場合、氏名のみで可)
⑦	金額欄	・各票の右上部等、分かりやすい位置に設欄
⑧	日附印欄	・各票下部に設欄（縦横30mm以上を推奨）
⑨	公金取りまとめ店 欄	・「ゆうちょ銀行 公金QR受持貯金事務センター」と表示
⑩	保管場所	・各票の下部欄外に、各票の保管場所を「納入者保管」「金融機関（郵便局）保管」「市町村保管」のように表示

⑪	納付場所	<ul style="list-style-type: none"> ・「全国の地方税統一QRコード対応金融機関」等（審査時はネガティブチェックのみ）
⑫	その他 （準拠帳票を想定）	<ul style="list-style-type: none"> ・ペイジーマークは表示不可 ・払込ID番号及び番号枠は表示不可（カク公用表示のため） ・「通常払込料金加入者負担」の文言は表示不可（カク公用表示のため） ・刷色は他の払込書との差別化を図るため「赤」「青」及び「黒」以外の色（一見してMPN払込書と誤認しない色）とすること

イ 日本マルチペイメントネットワーク運営機構（2022年5月30日）

「マルチペイメントネットワーク 地方税統一QRコードを利用する帳票について」（第1.0版）

主な要目（抜粋）

（略） 2. 3. 地方税統一QRコード納付書の作成基準について <u>MPN準拠帳票</u> では以下の禁止事項を厳守していただくようお願いします。 （略） <ul style="list-style-type: none"> ・ペイジーマークは表示不可 ・払込ID番号および番号枠は表示不可（カク公用表示のため） ・「通常払込料金加入者負担」の文言は表示不可（カク公用表示のため） ・刷色は他の払込書との差別化を図るため、「赤」、「青」および「黒」以外の色（一見してMPN払込書と誤認しない色）とすること

ウ 流通システム開発センター「GS I-128シンボルによる標準料金代理収納ガイドライン」第4版（2022年1月）（抜粋）

(略)

⑤印字に関する制限

・郵便用のカスタマーバーコード、地方税統一QRコードを除く、GS1—128シンボル以外のバーコードは、表面には記載しないこと。

5. 地方税統一QRコードの印字場所について

収納票に「地方税統一QRコード」を印字する場合は、次の基準を満たす必要がある。

- ・「地方税統一QRコード」の印字場所は「本部控」内に限るものとする。
- ・コンビニエンスストア等収納用のバーコード印字場所からできるだけ離れた場所とする。(コンビニエンスストア等収納用のバーコードが印字される枠内には印字しない。)
- ・図10に示すように、「本部控」の右下部への印字を推奨する。

図10. 地方税統一QRコード印字場所サンプル

